

めぐりっと紫波

◇◇◇ 國學院大學里山づくりプロジェクト 2022 ◇◇◇

森林整備や地域の活性化を目的とし、平成16年から毎年行われている「國學院大學里山づくりプロジェクト」が、ここ数年新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっておりましたが、令和4年8月20日に3年ぶりに開催されました。

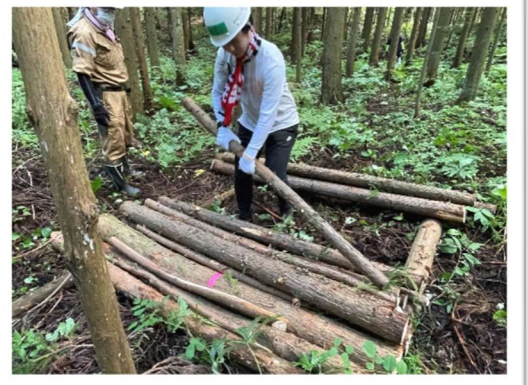
このプロジェクトは片寄地区の森林で行われ、都市部の学生や大学のOBなど18名が参加し、紫波みらい研究所会員の指導の下で間伐作業を体験しました。初めて間伐作業を体験する学生や久しぶりに参加するOB等は会話もはずみ、交流が行われました。また指導者からはどの木を伐採すれば森にとっていい環境になるのか話を聞き、森林の整備について理解を深めました。

参加者からは、「来年もまた参加したい。もっと紫波町のことについて知りたくなった」などの感想を聞くことが出来ました。

今回伐採された木は、「紫波町農林公社」で木質チップに加工され、町内の木質チップボイラーなどで活用されます。



のこぎりを使って伐採します



伐採した木は木質チップにします

「2050年温室効果ガス排出量実質ゼロ」を実現するために私たちができること

食の **地産地消** で「フード・マイレージ」を減らそう

日本の食料自給率は、カロリーベースで2018年度では37%となり、残り約6割は外国などから輸入しています。

輸送に伴う食料の輸送量に輸送距離を乗じた指標として「フード・マイレージ」があります。日本のフード・マイレージは諸外国と比較すると高い水準となっており、フード・マイレージを減らすには、地域で生産された旬の農林水産物を新鮮なうちにいただく地産地消が重要です。地産地消は食の安全・安心にもつながり、地域内での経済循環を高め、食に関する産業の活性化も促すことができるとともに、地域の風土や文化を学ぶ食育にも寄与します。

岩手県は食料自給率105%(令和2年度概算値)と、自給率が100%を超える数少ない都道府県のひとつです。その豊かな食材を地産地消することでフード・マイレージを減らし、食の持続可能性を高めていきましょう。(いわてわんこ節電所HPを参考)



※お詫びと訂正

6月8日発行のめぐりっと紫波 Vol.65 の「CO2削減アクション」の説明に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。「こまめに証明を消す」とありますが、正しくは「こまめに照明を消す」となります。

◆あぐり志和(産直) & あぐりちゃや(飲食店)

紫波町の西部、県道 13 号を花巻市方面へ行くと目の前に
田園が広がる産直「あぐり志和」があります。



当店は
環境を守る
エコショップです！



ここがエコポイント!!

☆レジ袋の代わりに段ボールを再利用。
☆組合員やお客様から遊休品をいただき
「ガレージセール」を開催。売上金は震災
復興の支援金として寄付しています。



旬の野菜やお花が並んでいます。
スーパーでは見ることがない、レアな野菜
などを見つかるのも楽しい!!



地元のお母さんがつくる定食(4種類)
は 550 円(税込)。お惣菜も人気です。

ここが
エコポイント!!

☆地元の農畜産物を使い、食を提供
することで、過剰なエネルギー
を使わないようにしています。
☆定食やお弁当、お惣菜は、食べ
残さない量にしています。

秋は収穫の季節！あぐり志和では 9 月下旬からいろんなイベント
を企画しています!!

★★★10月8日～10日「実(みのり)の市」★★★

- ・新米(銀河のしずく・ひとめぼれ・ささにしき)の食べくらべ
- ・つきたてお餅のお振る舞い
- ・秋野菜の特売 などなど



営業時間 9 時～18 時(年中無休)
あぐりちゃやは 11 時～14 時
住 所 紫波町片寄字山田前 441
TEL・FAX 019-673-7684

全国植樹祭連携事業

「ウルシモリプロジェクト 2022」参加者募集!!

ウルシの可能性や
新たな活用について
学びながら、ウルシ
の植林をします。



開催日：11 月 5 日(土) 10 時～11 時 30 分
場 所：日詰七久保の町有地
内 容：ウルシの講話と植林作業
参加対象：紫波町在住の 18 才以上
参加費：無 料

お申込みは：10 月 20 日(木)までに NPO 法人紫波みらい研究所へ
E-mail miraiken@shiwa-mirai.com TEL 019-671-2244 FAX 019-671-2243
※この事業は、岩手県緑化推進事業の助成金で運営しています。

めぐりと紫波は、紫波町産業部環境課の委託事業で発行しています。